

一等水準点検測成果集録

第 18 卷

(昭和48年度観測)

昭和 50 年 2 月

建設省国土地理院

記

本集録は、昭和48年度に、国土地理院が行なった一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

なお、新潟地方地盤変動調査のため行なった一等水準点検測の結果は、新潟地方地盤変動調査測量に関する報告第27巻(昭和49年9月)をもって発表済みであるので、本集録では省略した。

昭和50年3月

建設省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 18 卷

(昭和48年度観測)

目 次

1. 観測器械および観測法	3
(1) 観測器械	
(2) 観測法	
2. 検測区域および期間	5
3. 変動図の説明	7

付図 一等水準路線図

一等水準点変動図

1. 観測器械および観測法

(1) 観測器械

A 水準儀

観測年度	水準儀名称	望遠鏡倍率	水準器感度
大正14年(1925)以後	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水準儀	36倍	10"~12"/2mm (合致式)
昭和28年(1953)以後	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水準儀	36倍	"
	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10"/2mm (合致式)
昭和31年(1956)以後	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	"
昭和43年(1968)以後	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	"
	Zeiss 製Ni2型精密水準儀	32倍	円型水準器 8'

B 水準標尺

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
大正14年以後 (1925)	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3m	インバル(巾2.6cm、長さ3mのものを20kgの張力で緊張してある)	インバル帯の中央線の両側に2.5mmの差をもって、5mmごとに目盛る
昭和28年以後 (1953)	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3m	"	"
	Wild 製精密水準標尺	3m	"	同上5mmの差をもって10mmごとに目盛る
昭和31年以後 (1956)	Wild 製精密水準標尺	3m	"	"

(2) 観測法

観測に当っては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の丸型レベルによって鉛直に立て、水準儀は両標尺間の中央に整置し、後視 - 前視、更に前視 - 後視の順序に観測を行なう。

整準ねじによってまず、丸型レベルの気泡を中央に導き、第一回視準は、望遠鏡の視野における標尺の左側分画線の中央に、第二回は右側分画線の中央に、それぞれ測微装置によって「くさび」型十字糸を導き、プリズム内の水準器気泡の映像が合致したとき、分画線を正しく挟んで、マイクロメータにより、10分の1mm（昭和35年以前は100分の1mm）まで読みとった。

水準儀と標尺の距離は、平地では通常50m～60m（Garl Zeiss 製Ⅲ型では40m）以内とし、各水準点間（2Km、地点標に併設された水準点間は1Km）は往復測量を行なって、その往復差は、 $2.5\text{mm}\sqrt{S}$ （昭和35年以前は $1.5\text{mm}\sqrt{2S}$ 、昭和36年より昭和39年までは $2.0\text{mm}\sqrt{2S}$ ）以内である。

なお「インバール」製標尺は定期的に「インバール」製5m標準尺（共に副原器と直接比較したもの）と比較検定して、観測値に所要の補正を行なった。

2. 検測区域および期間

変動図 番 号	検 測 区 域	不動とした 水準点番号	キロ数	検 測 期 間
48- 1	自北海道紋別郡興部町 B.M.J. 39 至 " 名寄市 B.M.J. 37	紋別郡興部町 J. 39	72	自昭和48年 5月 至 " 6月
48- 2	自北海道釧路市 釧路検潮所固定点 至 " 根室市 花咲検潮所固定点	釧 路 市 J. 7606	} 129 } 49	自昭和48年 6月 至 " 8月
	自北海道野付郡別海町 B.M. 準基7637 至 " 根室市 B.M. " 191	野付郡別海町 準基 7637		自昭和48年 7月 至 " 8月
48- 3	自山形県西田川郡温海町 B.M. 付 16 経 " 酒田市 B.M.J.6547 至宮城県仙台市 B.M.J.2169	西田川郡温海町 J. 16	225	自昭和48年 5月 至 " 11月
48- 4	自新潟県豊栄市 B.M. 4416 至 " 新発田市 B.M.J.4410	豊 栄 市 4416	} 13 } 119	自昭和48年 5月 至 " 6月
	自新潟県北蒲原郡安田町 B.M.J.4398 至山形県西田川郡温海町 鼠ヶ関 験潮場固定点	西田川郡温海町 鼠ヶ関験潮場固定点		自昭和48年 6月 至 " 8月
48- 5	自新潟県柏崎市 B.M. 付 17 至 " 北蒲原郡安田町 B.M.J.4398	西田川郡温海町 付 17	114 74	自昭和48年 6月 至 " 7月
	自新潟県柏崎市 B.M. 付 17 至 " 西蒲原郡岩室町 B.M. YHK7			自昭和48年 5月 至 " 7月
48- 6	自新潟県北蒲原郡安田町 B.M.J.4398 至福島県会津若松市 B.M.J.4264	北蒲原郡安田町 J. 4398	93	自昭和48年 7月 至 " 8月
48- 7	自福島県会津若松市 B.M.J.4264 至 " いわき市 B.M.J.4201	会津若松市 J. 4264	134	自昭和48年 9月 至 " 10月
48- 8	自茨城県水戸市 B.M.J.4056 至宮城県岩沼市 B.M.J.2169	水 戸 市 J. 4056	237	自昭和48年10月 至 " 12月
48- 9	自群馬県高崎市 B.M.J. 522 至福島県会津若松市 B.M.J.4264	高 崎 市 J. 522	226	自昭和48年 5月 至 " 10月

変動図 番号	検 測 区 域	不動とした 水準点番号	キロ数	検 測 期 間
48-10	自長野県松本市 B.M.J.2873 至新潟県小千谷市 B.M.J.3595	松 本 市 J. 2873	217	自昭和48年 5月 至 " 7月
48-11	自東京都葛飾区金町 B.M.J.3370 至茨城県水戸市 B.M.J.4056	水 戸 市 J. 4056	98	自昭和48年11月 至 " 12月
	自千葉県野田市 B.M.10863 至 " 船橋市 B.M.J.3826	野 田 市 10863	57	自昭和49年 1月 至 " 3月
48-12	自茨城県土浦市 B.M.J.4033 至千葉県銚子市 B.M.10915	土 浦 市 J. 4033	85	自昭和49年 1月 至 " 3月
48-13	自千葉県勝浦市 B.M. 付 20 至 " 銚子市 B.M. 3962	勝 浦 市 付 20	117	自昭和49年 1月 至 " 3月
48-14	自東京都千代田区 B.M. 甲 至千葉県勝浦市 B.M. 3904	千 代 田 区 甲	107	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自千葉県市原市 B.M. 3838 至 " 勝浦市 B.M. 3904	市 原 市 3838	60	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自千葉県千葉市 B.M.J.3837 至 " " 千葉県水準原点	千 葉 市 J. 3837	10	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自東京都千代田区 B.M. 甲 経神奈川県三浦市 B.M.5367-2 至 " 横浜市 B.M.F. 25	千 代 田 区 甲	134	自昭和49年 1月 至 " 3月
48-15	自神奈川県三浦市 油壺験潮場固定点 至 " " B.M.5367-2	三 浦 市 油壺験潮場固定点	2	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自神奈川県横須賀市 B.M.10838 至 " 逗子市 B.M.5362-1	横 須 賀 市 10838	6	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自神奈川県藤沢市 B.M. 36-1 至 " 平塚市 B.M. 41-1	藤 沢 市 36-1	20	自昭和49年 1月 至 " 3月
	自神奈川県横浜市 B.M.J. 35 至東京都千代田区 B.M. 甲	横 浜 市 J. 35	57	自昭和49年 1月 至 " 3月

変動図 番号	検 測 区 域	不 動 と し た 水 準 点 番 号	キ ロ 数	検 測 期 間
48-16	自静岡県沼津市 B.M.J. 60 至 // 賀茂郡南伊豆町 B.M. 9363	沼 津 市 J. 60	103	自昭和48年 7月 至 // 9月
48-17	自沖縄県石垣島市 石垣港検潮所 至 // // B.M. 9901	石 垣 島 市 石垣港験潮所	69	自昭和48年10月 至 // 11月

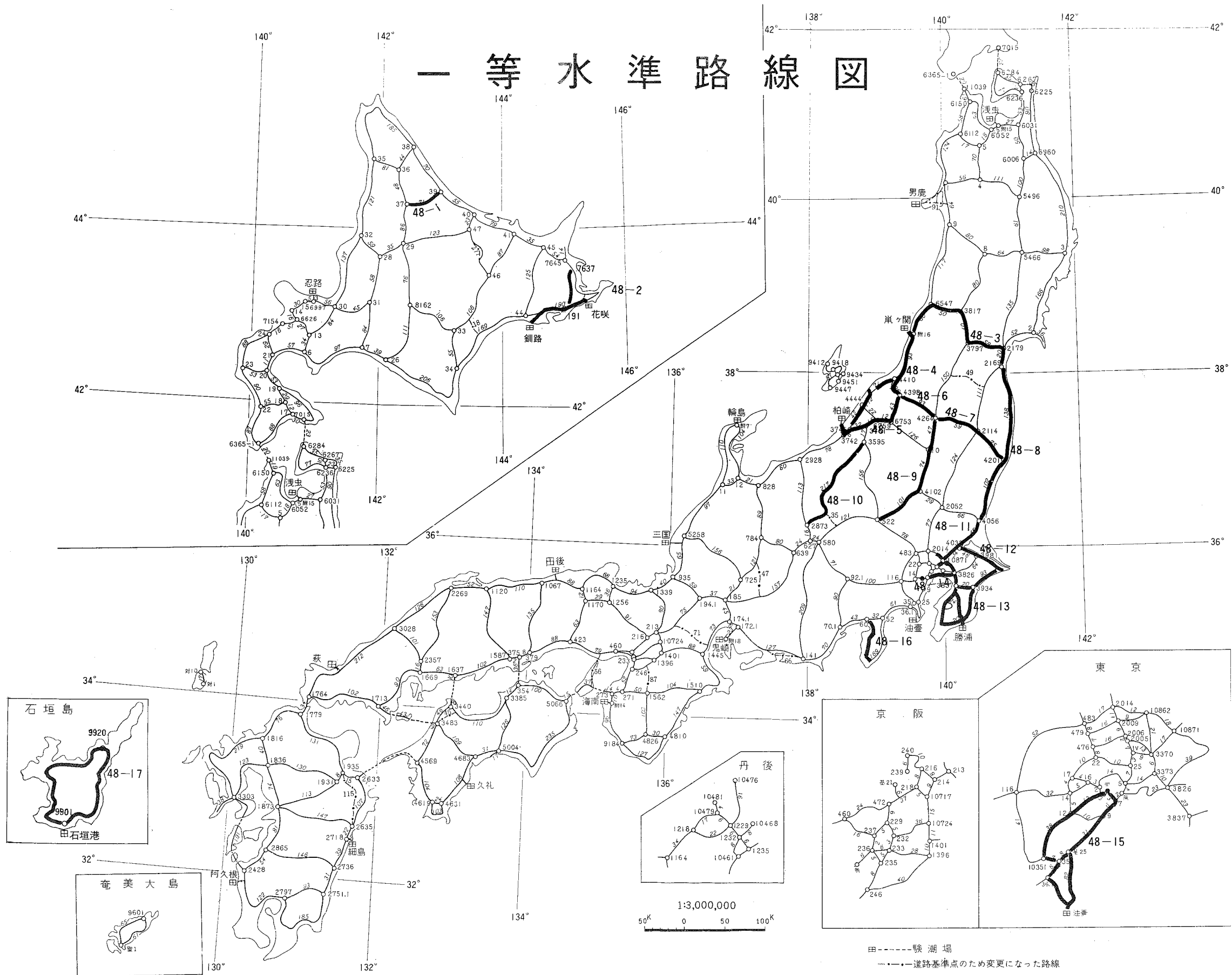
3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量はすべて水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準として累加したものである。

ただし、48-1図については、平均成果との比較による。

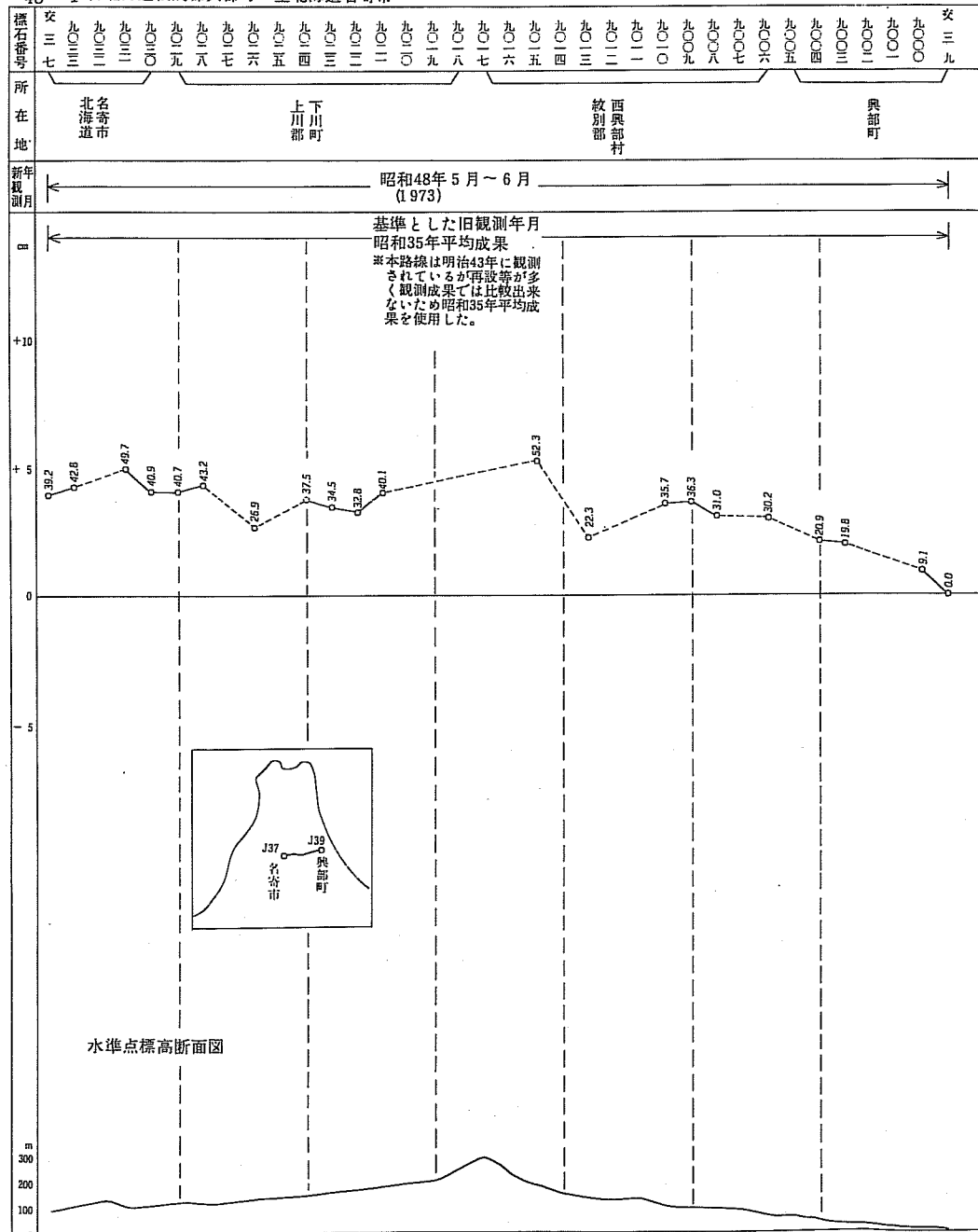
- (2) 変動図中、再設、傾斜改理等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらの点が図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 昭和39年度から、建設省道路局長と国土地理院長との覚書により、指定区内の一般国道において、道路管理者の設ける地点標の1Km毎に、一等水準点を併設（新設）することになりこれを道路水準点と仮称しており、001-181のような番号がなされている。

一等水準路線図



田-----験潮場
道路基準点のため変更になった路線

48-1 自北海道紋別郡興部町 至北海道名寄市



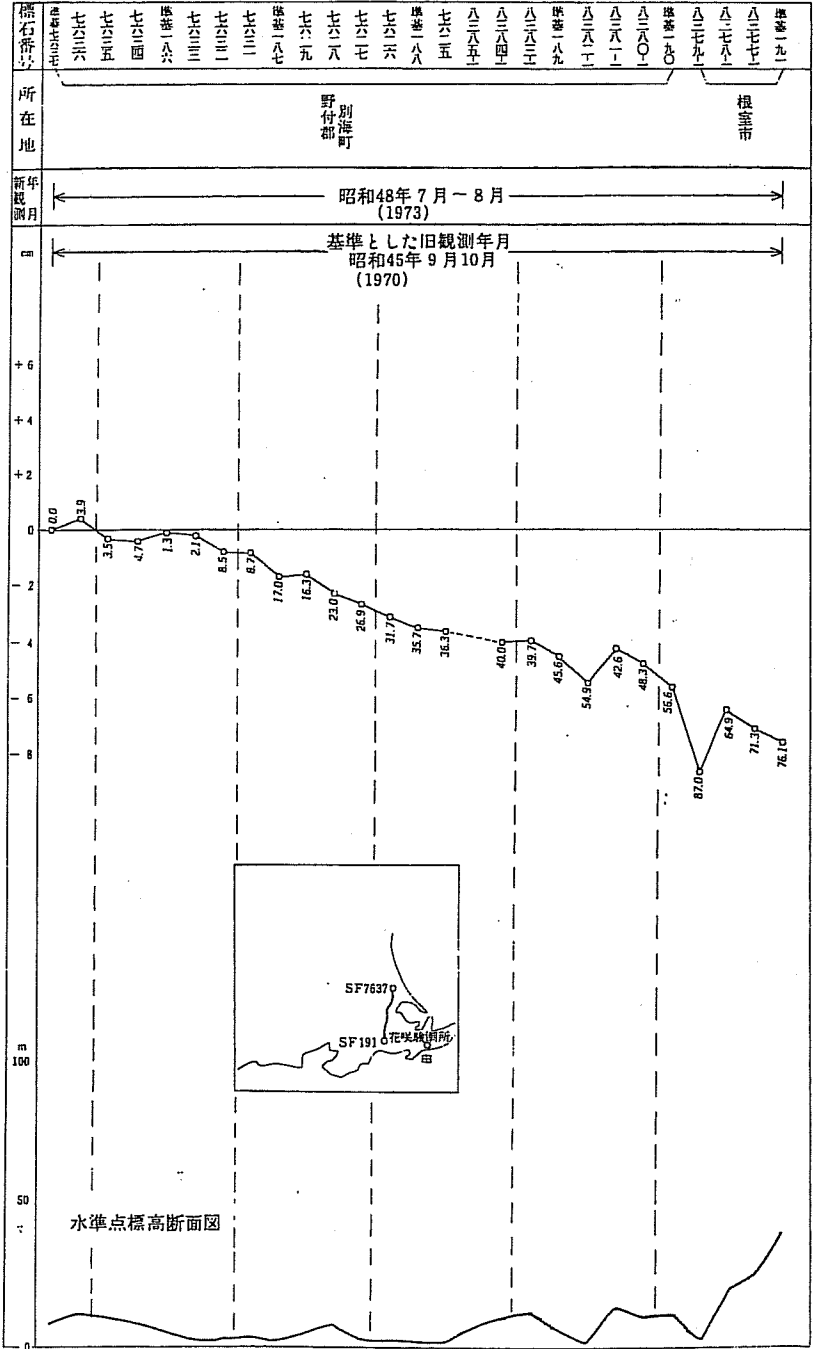
花
野
寮
固
定
所
点

付
1
0

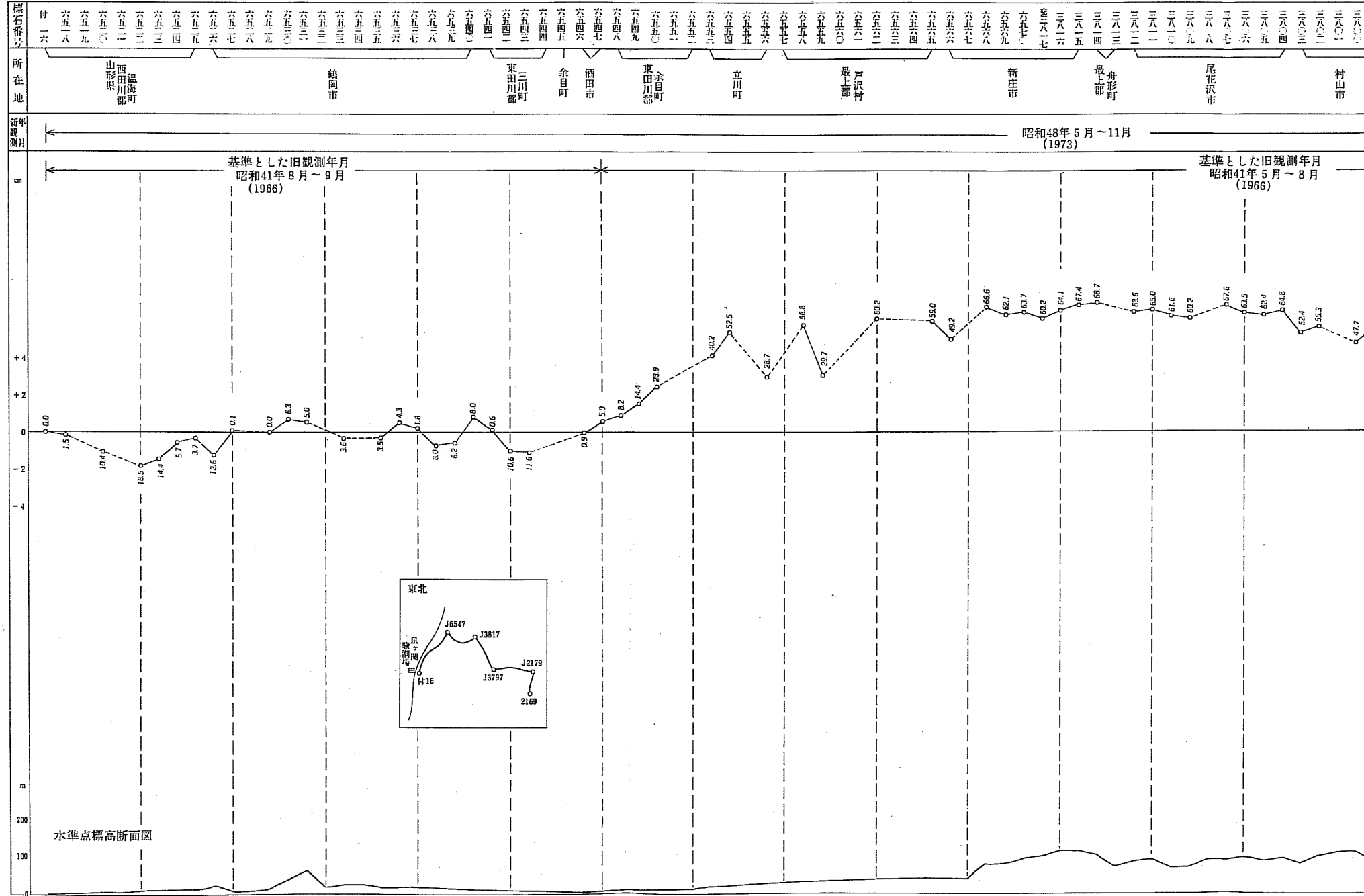


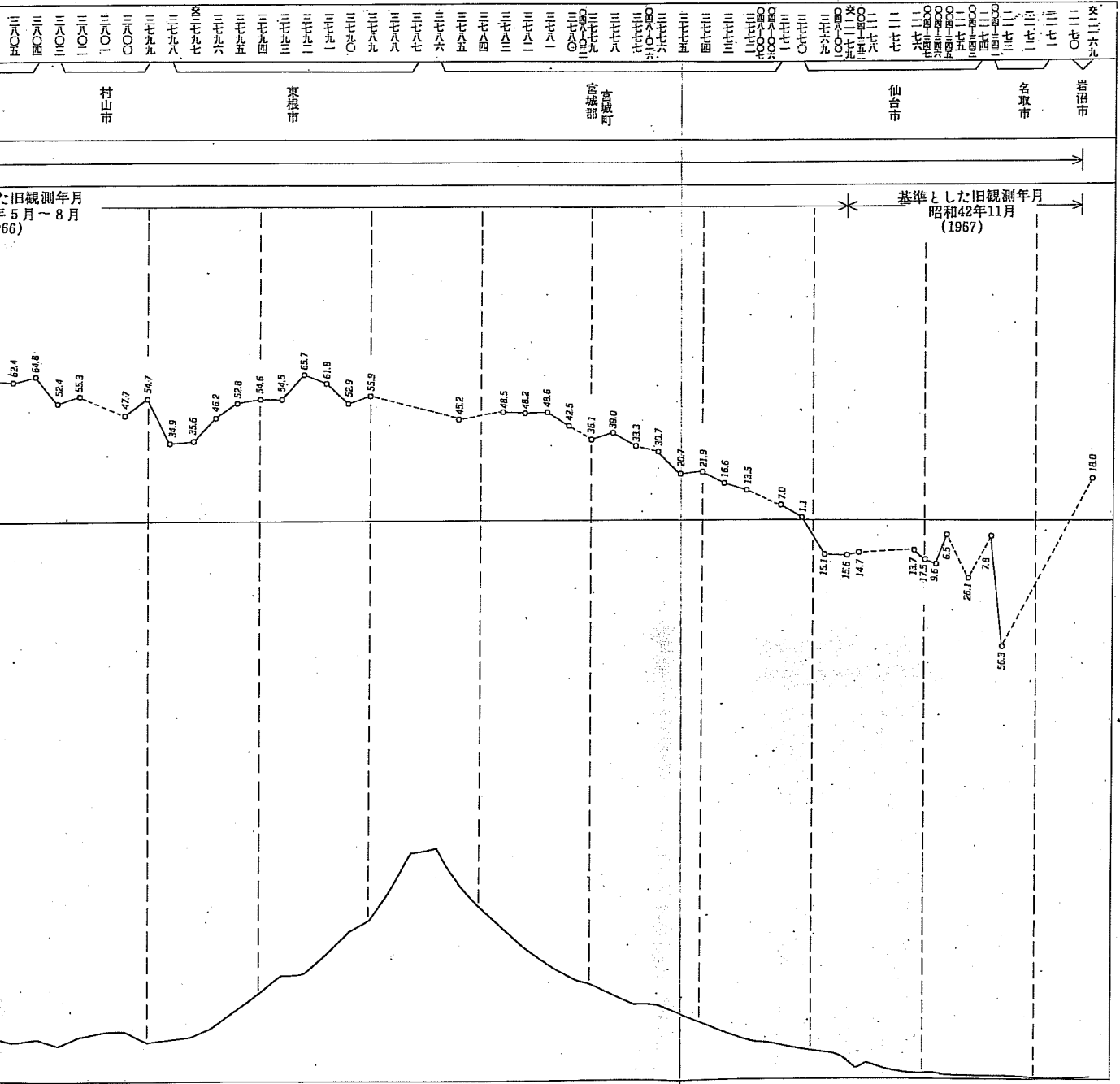
Q.155
0075

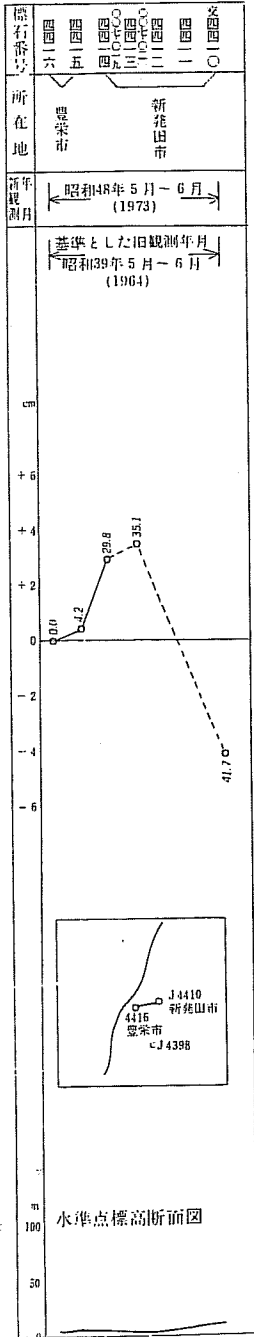
自北海道野付郡別海町 至北海道根室市



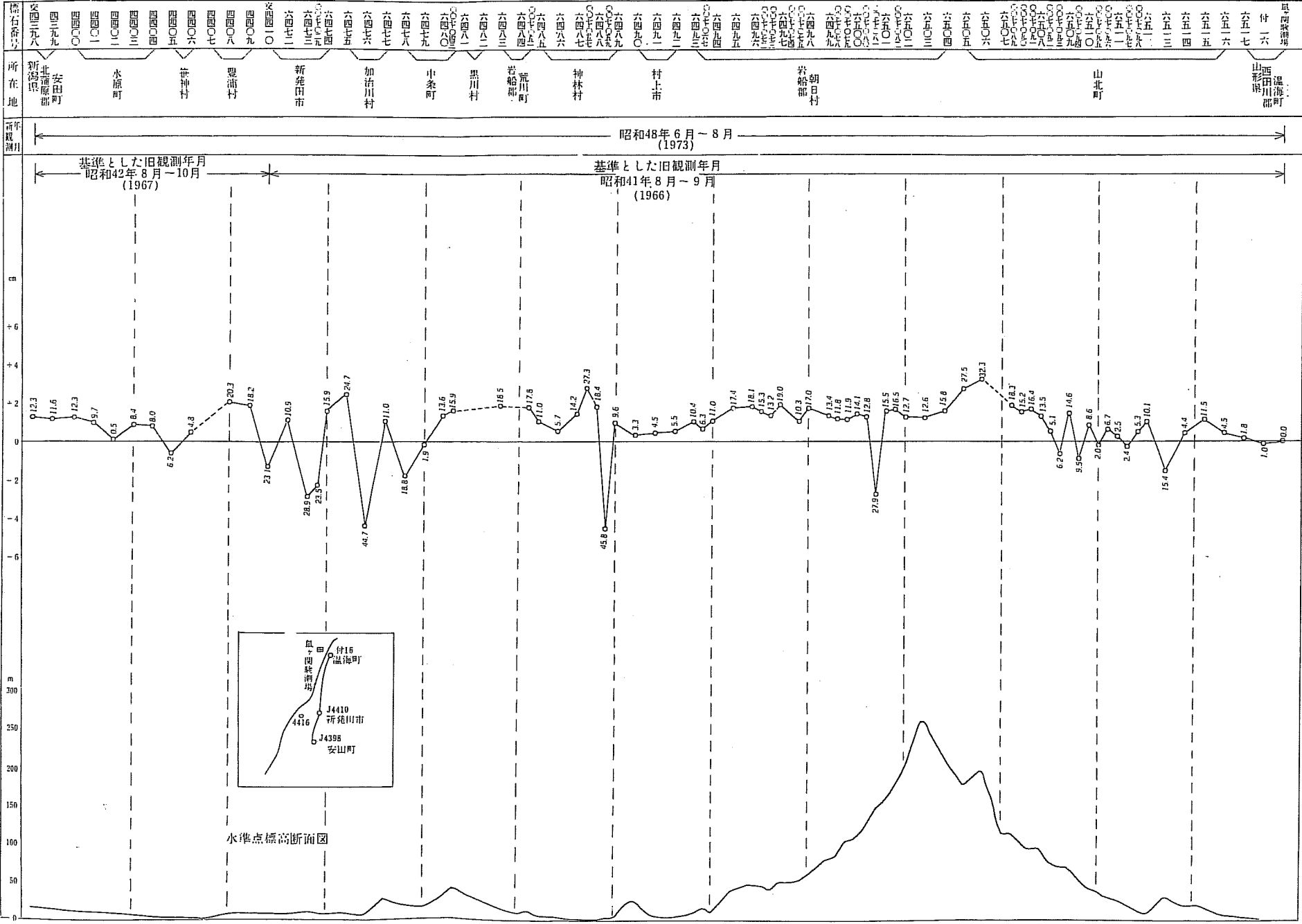
48-3 自山形県西田川郡温海町 至宮城県岩沼市

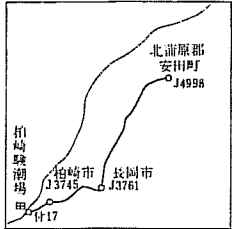
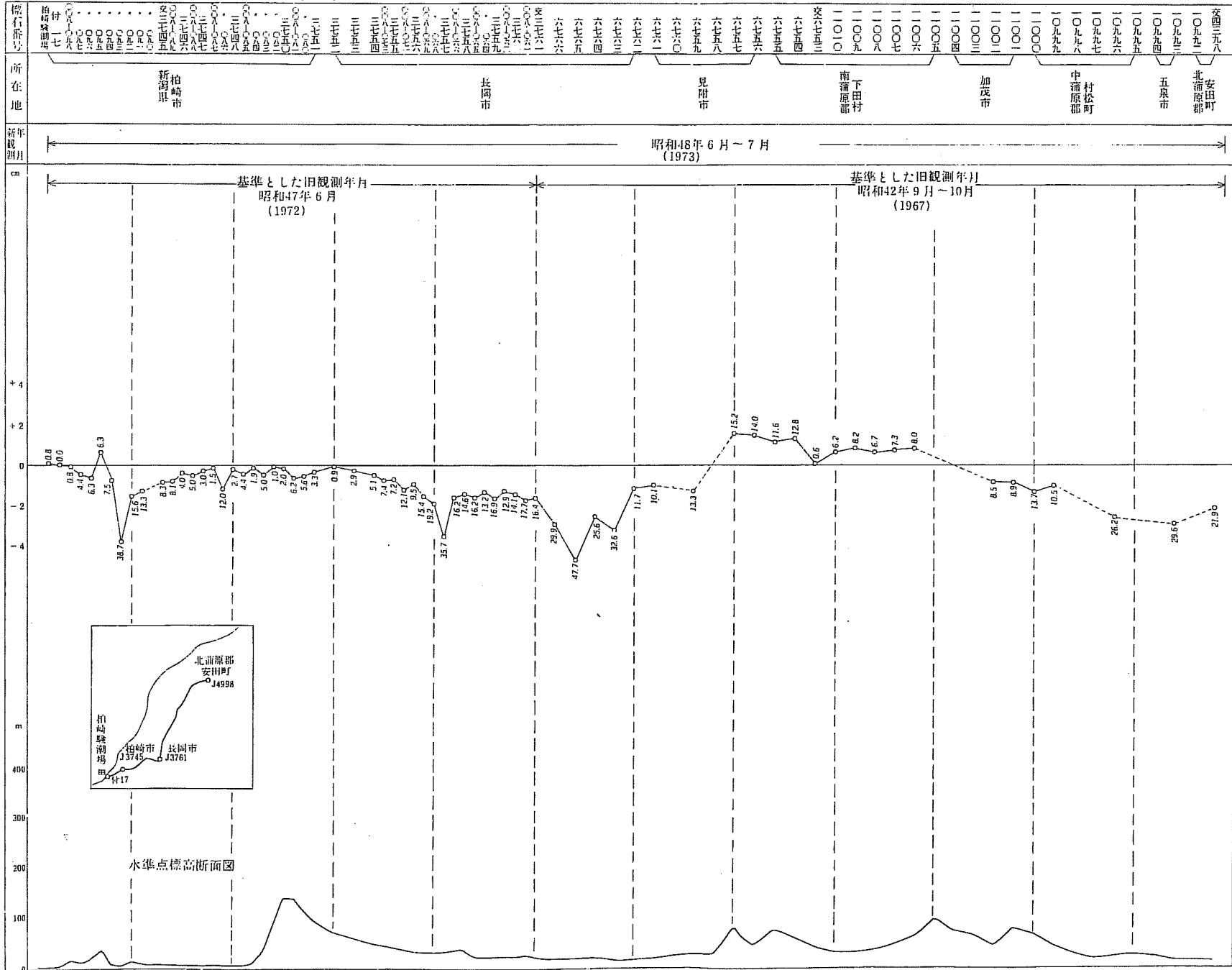






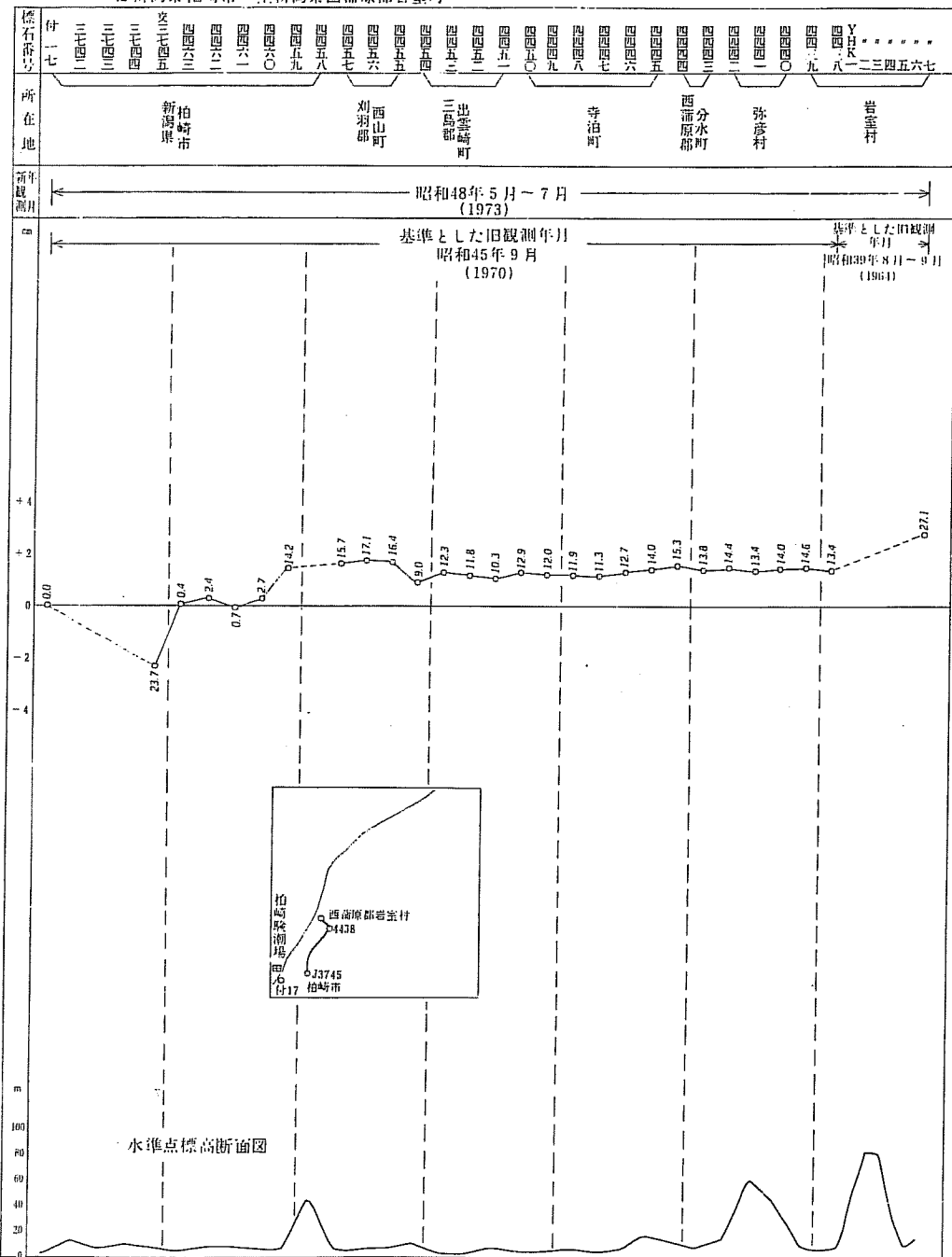
自新潟県北蒲原郡安田町 至山形県西田川郡温海町



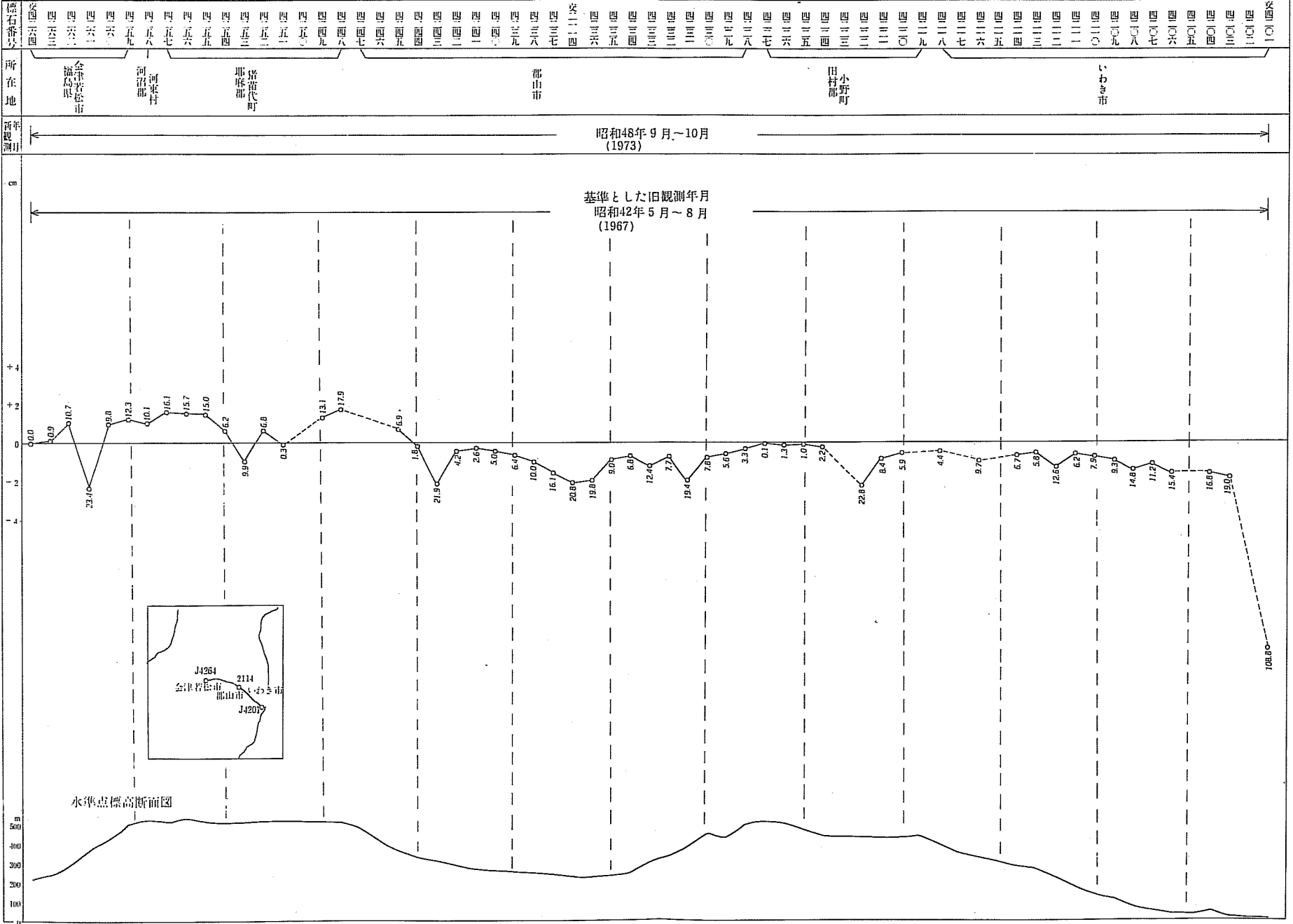


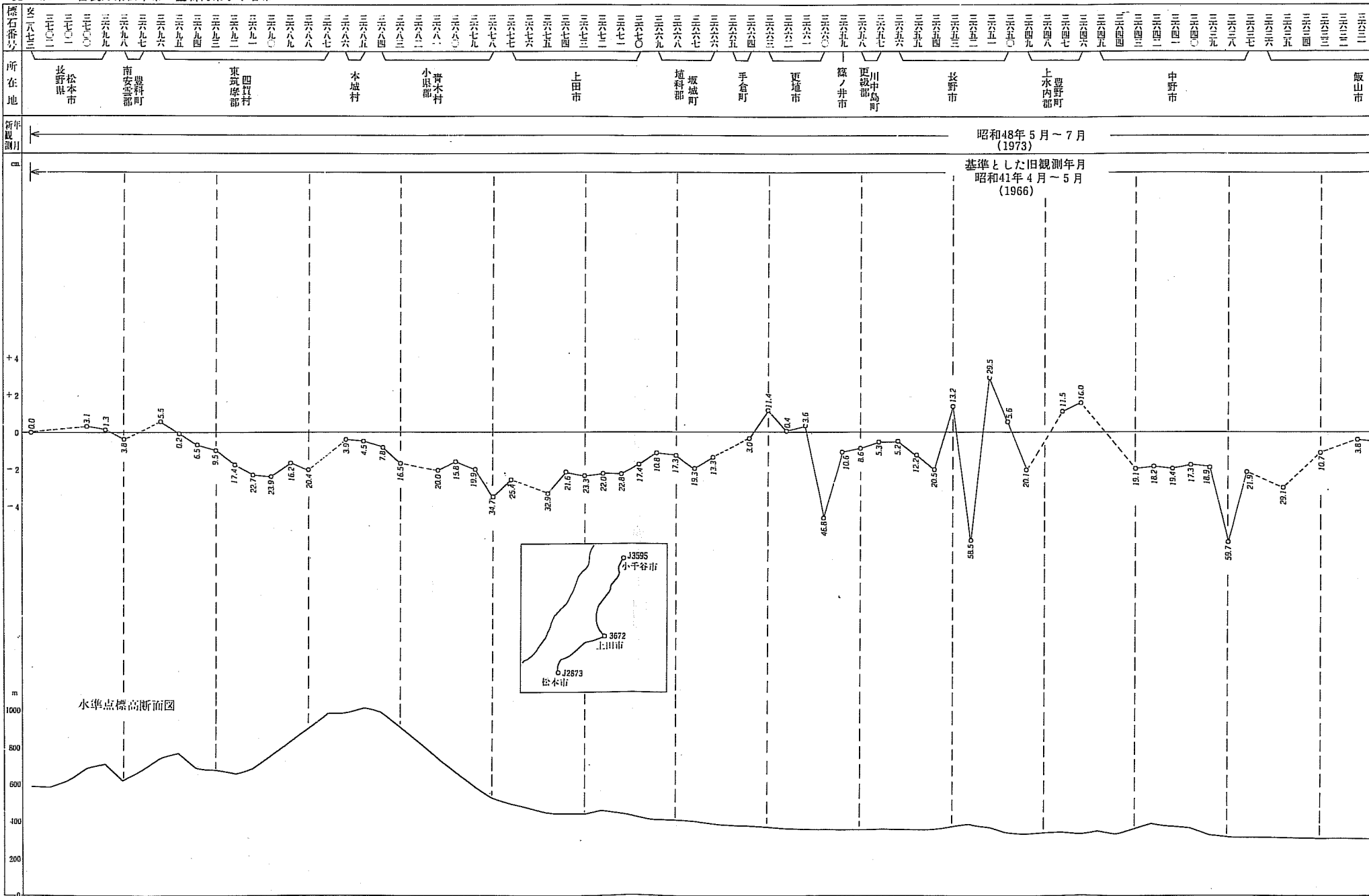
水準点標高断面図

自新潟県柏崎市 至新潟県西蒲原郡岩室町

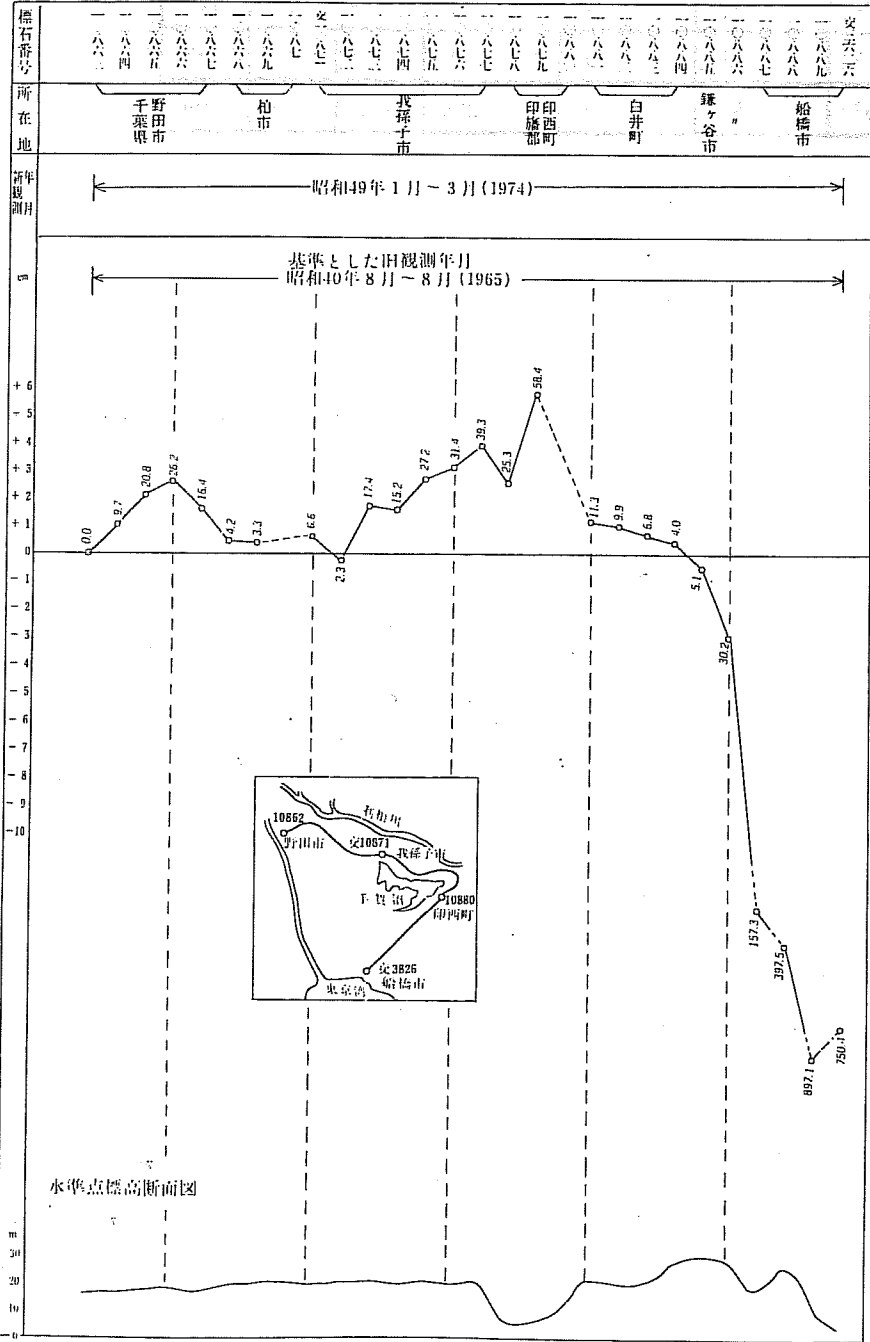


48-7 自福島県会津若松市 至福島県いわき市

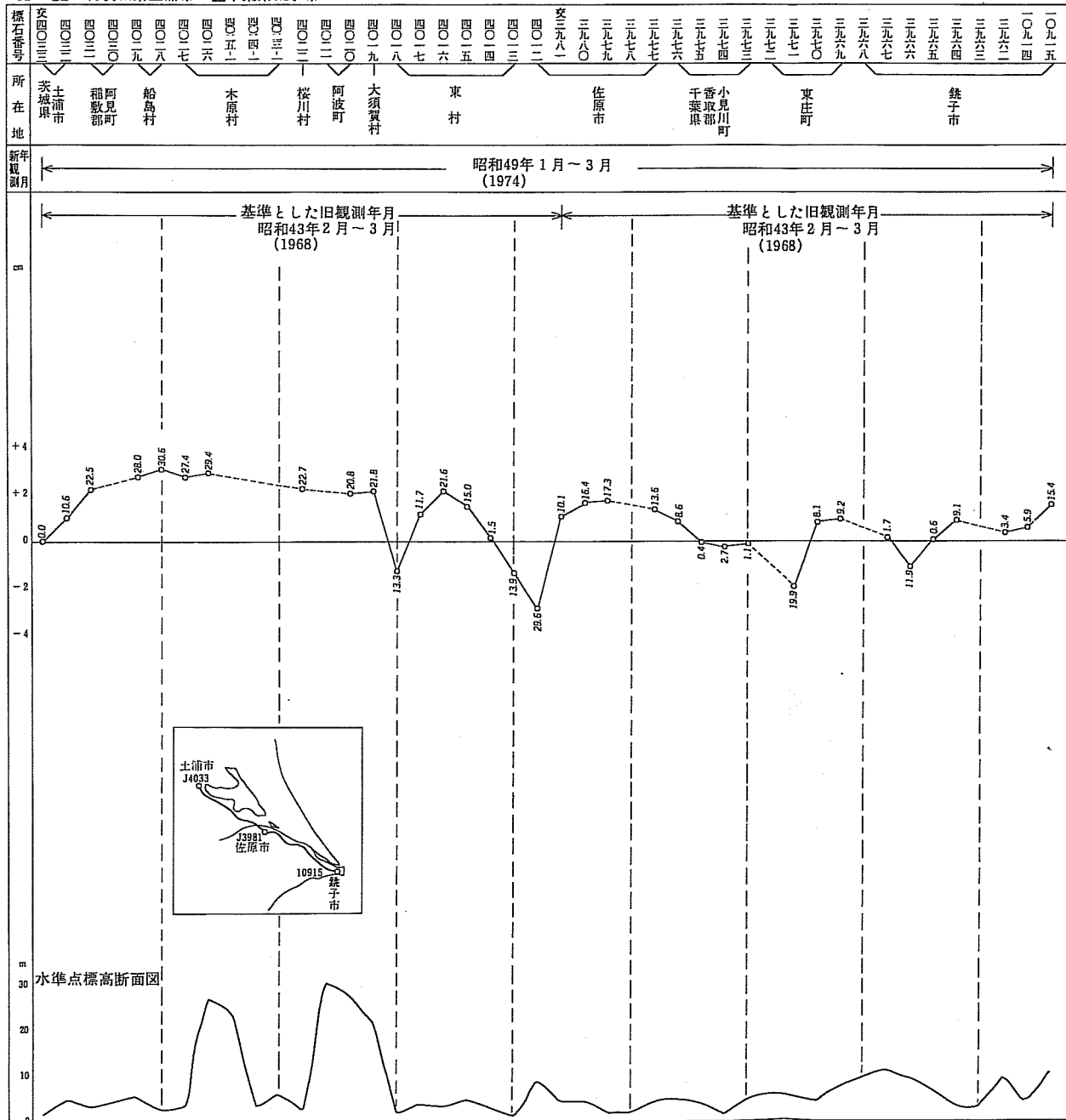




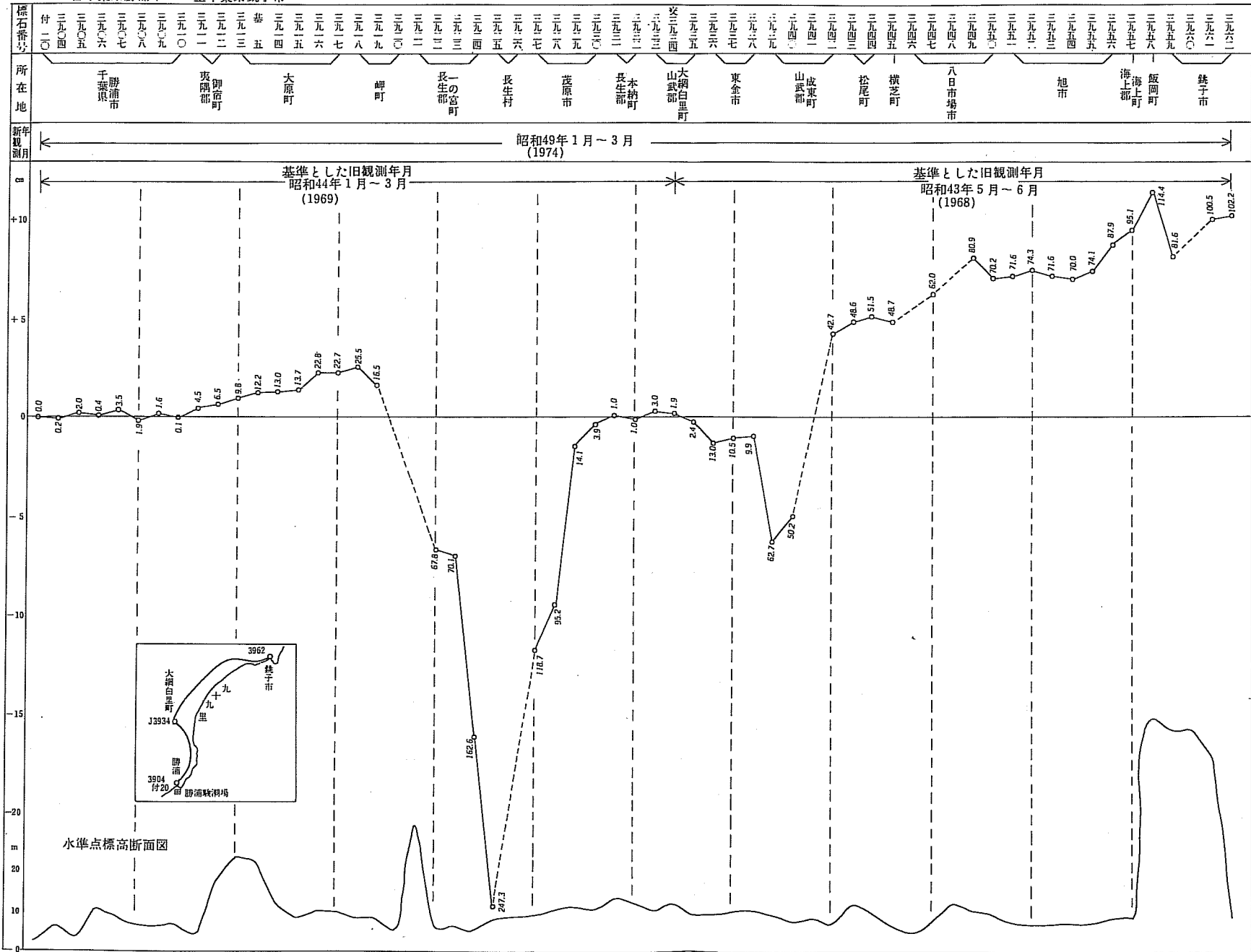
自千葉県野田市 至千葉県船橋市



水準点標高断面図

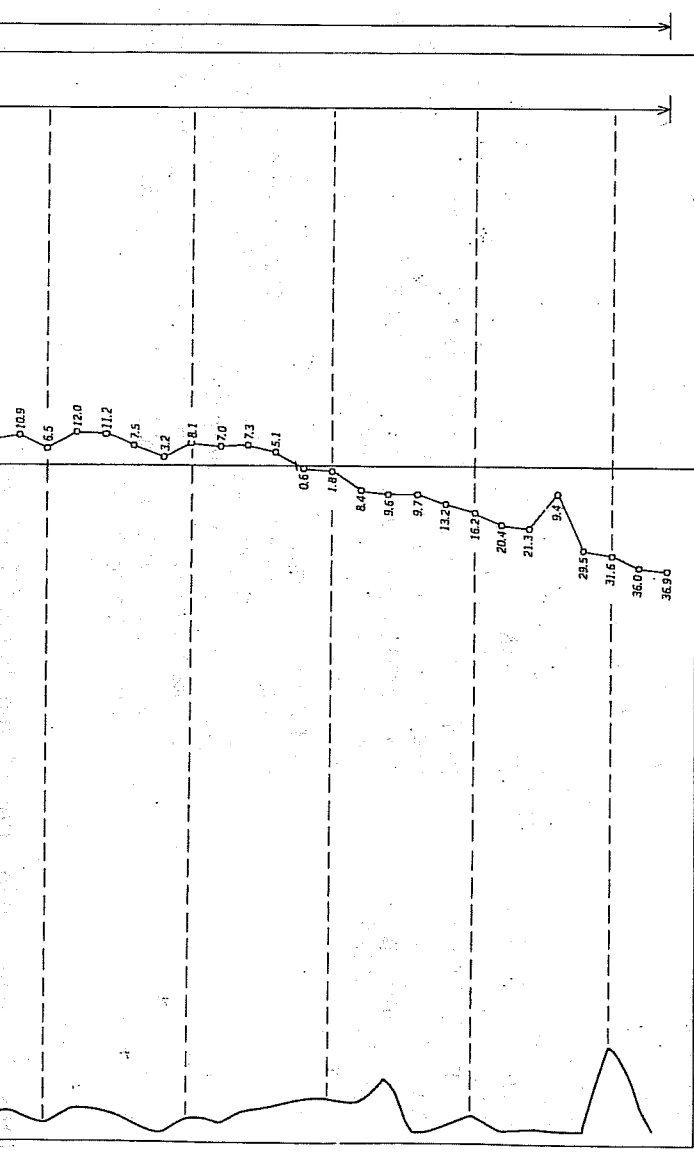


48-13 自千葉県勝浦市 至千葉県銚子市

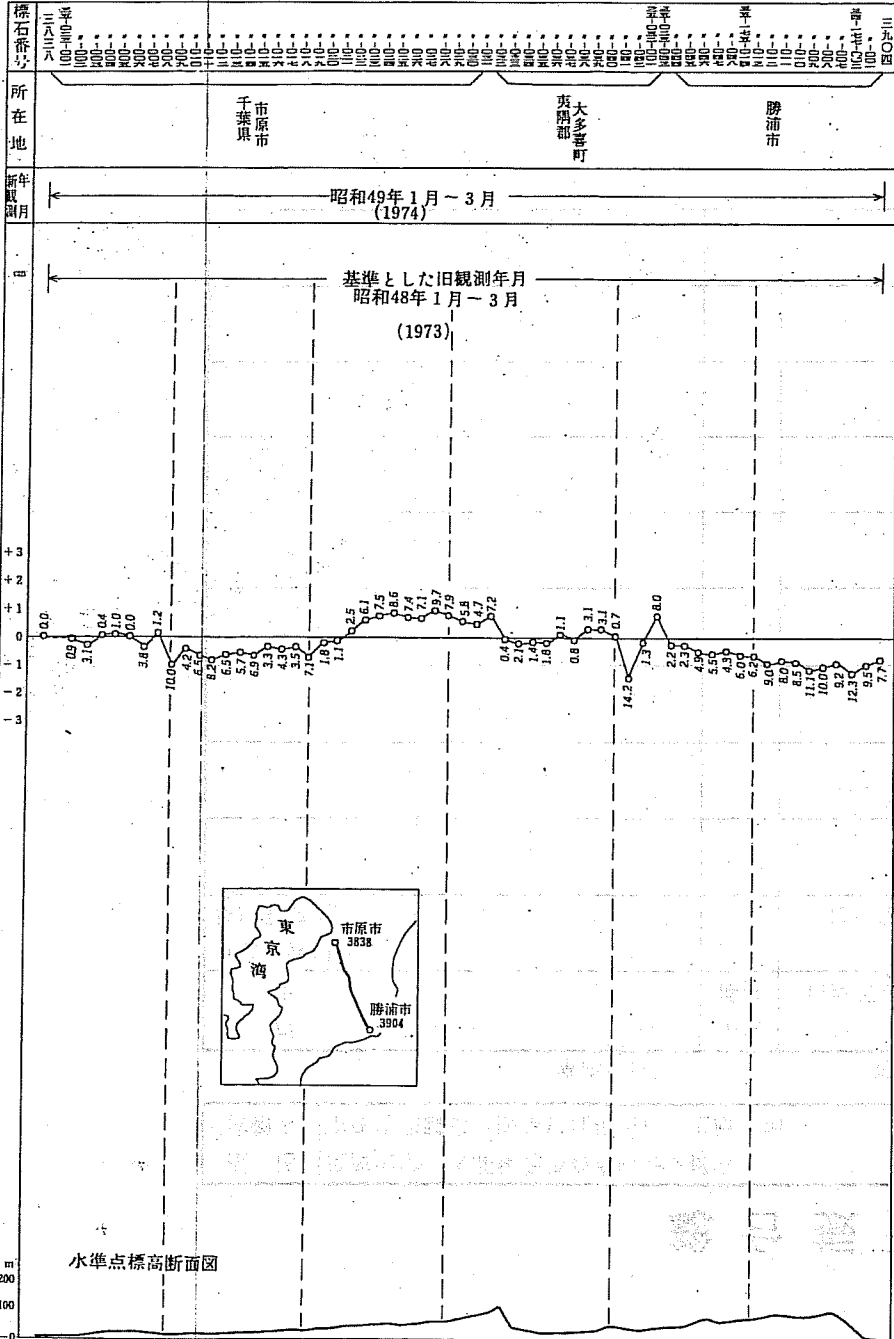


三九〇四
 三九〇三
 三九〇二
 三九〇一
 三九〇〇
 三八九九
 三八九八
 三八九七
 三八九六
 三八九五
 三八九四
 三八九三
 三八九二
 三八九一
 三八九〇
 三八八九
 三八八八
 三八八七
 三八八六
 三八八五
 三八八四
 三八八三
 三八八二
 三八八一

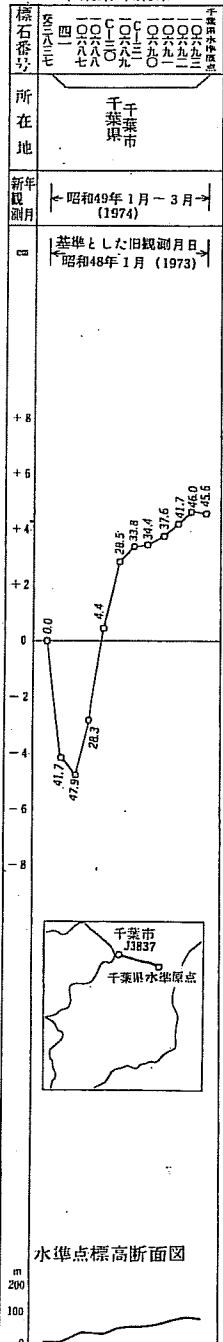
勝浦市
 天津小湊町
 鴨川市
 和田町
 丸山町
 館山市



48-14 自千葉県市原市 至千葉県勝浦市



千葉県千葉市



48-17 沖縄県石垣市

